

加須市議会

議会改革特別委員会 通信（第21号）

発行：加須市議会改革特別委員会、平成30年4月26日

市議会改革特別委員会は4月26日、第22回の委員会（9:30～11:40）を第1委員会室でひらきました。議題は、報告4件、協議事項2件です。

報告の内容は、①市内企業の訪問研修を6月市議会閉会以降に延期、②市民公開研修講座「市民とともに進める議会改革」の参加者確認、③加須市議会と平成国際大学との連携協力に関する協定の締結、④加須市議会モニターの推薦依頼について——以上の4項目。協議事項は、①市議会業務継続計画（市議会版BCP）、②加須市議会基本条例案のパブリックコメントに対する市議会の見解を検討——以上、2案件について協議しました。

1. 市議会業務継続計画（市議会版BCP）の「風水害対策編」を決定

市内に大規模災害が発生したとき、市議会が市民の代表機関・唯一の意思決定機関として、その機能と役割を果たす、市議会業務継続計画（市議会版BCP）を策定中です。課題となっていた、市議会版BCP「風水害対策編」を、前回の協議を踏まえて加筆修正し、「加須市議会業務継続計画（風水害対策編）」を全会一致で決定しました。

2. パブリックコメントに対する市議会見解の協議を開始

市議会基本条例案のパブリックコメントに対し、市民25人（1団体含む）から全体で75項目の意見が寄せられました。委員会は、市民の意見について、市議会として見解の取りまとめを開始しました。次回の委員会も継続して、見解のとりまとめを行います。なお、市民の意見に対する市議会の見解は、取りまとめの終了後に、市民に公表します。

3. 今後の委員会日程について

- ・第23回委員会：5月10日（木）午前9時30分、第1委員会室で開会します。
議題は、パブリックコメントの意見に対する市議会の見解とりまとめ等。

* 委員会の傍聴者は4人。委員外議員の発言者は1人でした。

※議員各位のご意見は、小坂徳蔵委員長と小勝裕真副委員長までお寄せください。